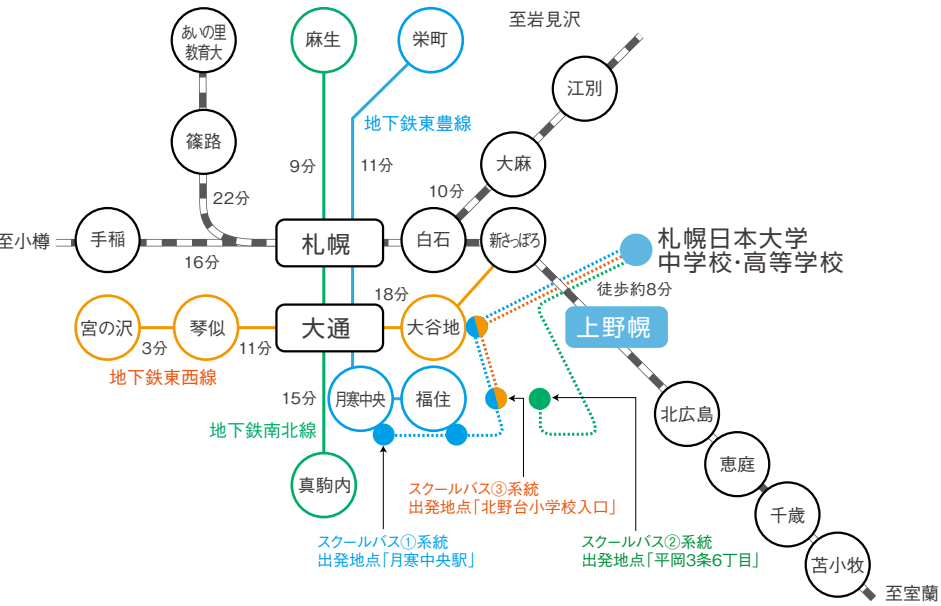


世界に貢献する人を――――。

2020年度 学校案内
SAPPORO
NIHON UNIVERSITY
JUNIOR&SENIOR
HIGH SCHOOL
PROSPECTUS 2020

学
び、
超
える。



主要駅からの通学時間（上野幌駅からの徒歩含む）

JR	地下鉄
小樽駅……………約90分	麻生駅……………約35分
手稲駅……………約50分	真駒内駅……………約45分
江別駅……………約40分	宮の沢駅……………約50分
千歳駅……………約35分	栄町駅……………約40分
苫小牧駅……………約60分	福住駅……………約45分
あいの里教育大駅……………約60分	大通駅……………約30分

お問い合わせ

札幌日本大学中学校・高等学校

〒061-1103 北広島市虹ヶ丘5丁目7番地1
TEL.011-375-5311 FAX.011-375-2646

札幌日大中学校

検索

札幌日本大学中学校・高等学校のホームページ上で教育活動の様子をご覧いただけます。
本校のホームページには、入試情報や学校説明会の案内など、最新の情報が掲載されています。ぜひ一度アクセスしてみてください。

<http://www.sapporonichidai.ed.jp>

お問い合わせ・資料請求 ☎ nic_snuh@sapporonichidai.ed.jp



中高一貫教育
札幌日本大学中学校・高等学校

未来に必要とされる人材を送り出すために、
本校では、より質の高い高等教育の場である大学進学を目標とし、
それに向けた進学準備教育を使命と考えています。
しかし、本校の6年間での学びの価値はそれだけではありません。

人生においてよりよい選択と判断ができるよう、社会に出てからも常に学び続けられること。
他者との関わりの中から多様な価値観について理解し、柔軟な視点で物事を考えられること。
自分を大切にし、人を思いやる心を持ちながら協調できること。
社会という集団の一員として自ら働きかけ、よりよい行動を起こせること。

本校の教育は、単に学力の伸長を目指すだけでなく、
人としてバランスの取れた豊かな成長を目指しています。

価値ある 学びの環境で、 子どもたちの 豊かな成長を 応援したい。

ごあいさつ

私学の意義・役割とは

日本の学校には公立校と私立校があることは誰もが周知しているところで
す。そして私立校には各学校の建学の精神があってそれに則って独自の教育を
実践しているということになります。しかしながら、どの学校も同じように進学
実績や部活動の活躍をアピールし、最近では公立校も同じようにアピールをはじ
め、数字で競い合っている以外で学校の違いが見えにくいのが現状ではない
でしょうか。私は私学の役割は、公立校ではないまたはできない先進的でユニ
ークな教育で教育界の先頭に立ち引っ張っていくことだと考えています。そ
の教育により北海道、日本全体の教育が刺激され、活性化していくことが本来
の私学の意義だと考えています。

本校の人材育成・教育方針について

本校は目指す育成人材像を「世界に貢献する人」と定め教育活動をしており
ます。世界、人類に貢献する意識をもち、調和・協調できる人間性と、事を成し
遂げるのに伴う困難を乗り越えていける精神力と実力を兼ね備えた人材を育
成することが本校の使命だと考えています。「世界に貢献する人」の育成には、
①国際性②日本のアイデンティティ③学力等の基礎力が必要と考えており、こ
れらのバランスをとりながら真剣に教育活動することが大切だと考えていま
す。これを本校では「本物の正しい教育」と呼んでおり、一つ一つ積み重ね実践
しております。世界全体を見据えるからこそ、国際感覚を養い、積極的に最先
端教育を取り入れると同時に、日本の教育の良い面も継承し、「グローバルな
日本人」として実力派の人材を育てることに力をいれています。北海道の子供
達に新しい選択肢を提供し、北海道を最先端のグローバル地域に導くチャレ
ンジングな新しい学校像を描いております。

教育運営方針について

上記の人材育成・教育方針を実現するために本校では教育企画・実践を3
つに分けて取り組んでおります。

1. 目今の教育に関する企画・実践

生徒たちが安定して充実した毎日過ごせる学校生活を目指し、同時に進
学、部活動、国際化教育、理数系教育に力を注ぐこと。

2. 近未来の対応に関する企画・実践

積極的な国際交流などのグローバル化、高いレベルの文武両道を発展させ
ていくこと。また、再来年にせまった新大学入試への対応、ICT教育など近
未来への変化に対応していくこと。

3. 10年、20年先を見据えた先進的教育の企画・実践

10年、20年先どういう学校にしていけるべきか、日本・北海道に将来本当に
必要な学校教育とは何かを追求し本校未来のグランドデザインを模索して
いくこと。

特に昨年10年後、20年後の教育を見据えて立ち上げた「未来教育創造
部」では未来教育の研究を積極的に進めております。

また一方で目今の生徒の皆さん一人ひとりの教育はいまでもなく大事な
ことです。生徒や保護者の皆さんに満足してもらえる教育の質の向上は、最優
先課題として学校全体を挙げて力を注いでおります。本校は日々の教育活動
一つ一つを大切に、そして未来に向かって大胆に挑戦していく学校文化が確
立している学校です。

今、近未来そして20年先、想像力と誠実さで
常に教育の最先端に挑戦し続ける学校へ

(学)札幌日本大学学園 理事長
札幌日本大学中学校・高等学校 校長
浅利 剛之

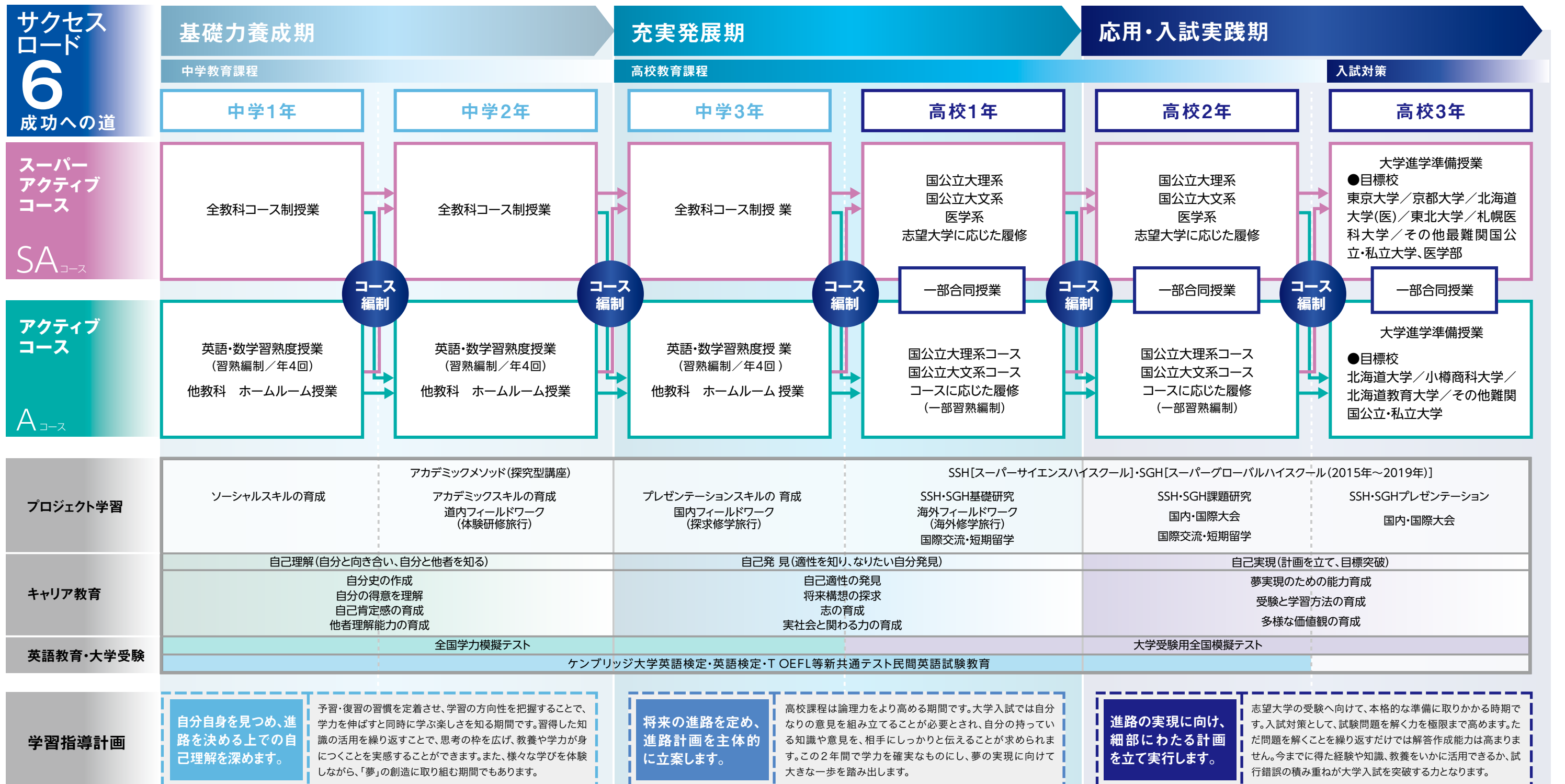


「本物の正しい教育」で、学力と人間力を兼ね備えた世界に貢献する人へ。

本校は、人材育成方針を「世界に貢献する人」と定めています。世界全体を見据え国際感覚を養い、最先端教育にも触れ、日本の教育の良い面も継承する実力派の国際人材を育てるために、次の三つの観点から教育を組み立てています。

1. 国際理解、創造力・問題解決能力・発信力育成、バランスのとれた広い視野、ハイレベルな語学力等世界全体に目を向けたアプローチ
2. 高いレベルの文武両道、礼儀作法、精神力養成、集団の中での順応力、高い道徳性など昔からよいとされてきた日本特有の学校教育からのアプローチ
3. 学力養成、体力養成など人間としての基礎力を養うアプローチ

これらのバランスをとりながら、子供達の成長に必要な、そしてどのような実践が有益かを見極め、一つ一つ真剣に精査し向き合う「本物の正しい教育」で、一つ一つ積み重ね「世界に貢献する人」の育成を目指していきます。



選抜コース編制

大学入試制度に的確に対応したコース制と、
中高6カ年教育で、輝く未来を勝ち取ります。

本校では、卓越したハイレベルな教科指導で、トップレベルの難関大学入試にチャレンジする「**中高一貫 スーパーアクティブコース (SAコース)**」と、習熟度別授業と次世代を見据えたプログラムを効果的に取り入れた教科指導で大学入試に向かう「**中高一貫 アクティブコース (Aコース)**」の2コース制を行っています。



選抜方式

本校では、これまで推し進めてきた教育をさらに一步グレードアップさせるため、より充実した布陣でより力強く取り組むために、スーパーアクティブコース志願者を対象とした特待生入試を昨年度よりスタートしました。また、多彩な入試制度(英語資格取得者入試、専願入試、得点加算入試、複数回入試)など、様々な角度から個性あふれる人材を求める選抜方式としました。

複数回入試日程制度 (A日程・B日程)

4教科による特待生入試を実施するA日程、4教科と総合(適性検査)による一般入試を実施するB日程を設定。難関のSAコースにダブルチャレンジが可能。

選択入試制度 [4教科入試・総合学力入試] (適性検査方式)

国語・算数・理科・社会の問題の解決力や解答の表現力を評価する4教科入試と、教科の枠にとられない横断的な思考力を評価する総合学力入試のいずれかが選択可能。

特待生入試制度

SAコース志望の成績上位合格者に対して学費を免除する特待生入試を実施。SAコース志願者はどなたでも受験可能。

専願入試制度

本校を第一志望で出願して合格した場合、入学手続きをする受験生を対象に、入学試験の総合得点に一定の得点を加算する制度。

英語資格取得者入試制度

英語検定3級相当以上取得者を対象に、入学試験の総合得点に一定の得点を加算する制度。

帰国子女入試制度

英語検定2級以上相当取得者を対象に、入学試験の一部教科を満点とする、みなし得点制度。

受験方法

試験名・諸条件		対象コース		A 日程		B 日程	
		SA コース	A コース	4 教科入試	総合学力入試 (適性検査方式)	4 教科入試	総合学力入試 (適性検査方式)
一般入試		○	○	○	—	○	○
特待生入試	・第1志望優先(併願可)	○	—	○	—	—	—
専願入試	・第1志望優先(併願可) ・得点加算	○	○	○	—	○	○
英語資格取得者入試	・英語検定などの資格取得者 ・得点加算	○ (準2級)	○ (3・4級)	○	—	○	○
帰国子女入試	・海外生活条件なし ・英語検定2級以上取得者 ・みなし満点制度	○ (2級)	○ (2級)	○	—	○	○

・特待生入試を第1志望とみなし、自動的に第2志望がSAコース、第3志望がAコースとなります。
・A日程、B日程両日受験可。
・総合学力入試(適性検査方式)は、札幌市立開成中等教育学校の入試タイプ。
・詳細は「進学ガイドブック」を参照ください。

中高一貫 スーパーアクティブ コース

SAコース

卓越したハイレベルな教科指導のもと、ハイレベルの難関大学入試問題にチャレンジします。中高一貫ならではのカリキュラムは、医学部受験に必要な総合問題、小論文、面接に対してもしっかり対応します。難関大学で求められる論述対策は、各教科の個別(添削)指導はもちろん、特定大学の傾向対策まで個別に実施します。大学入試に必要な準備は、すべてここで完結します。難関大学特有の思考力・課題発見解決力、表現力などを教科指導、ホームルーム活動を通じて学びます。

東京大学、京都大学などの最難関大学、 医学部を目指す受験生を対象とした指導コース

チームワークよく元気いっぱい 担当教員が見た中学1年SAコース

SAコースの雰囲気は、エネルギーに満ち溢れていて、何をするにもとても活発で積極的に取組む姿が印象的です。授業では積極的に発言したり意見を交わしたりしながら学んでいます。行事活動では、チームワーク良く活発に意見を交換し、アイデアを出し合っています。学校生活では、男女の垣根もなく仲が良く、昼休みには体育館や校庭で思いっきり体を動かしたり、教室で読書に没頭したり友だちとのおしゃべりに花を咲かせています。また、8割の生徒が部活に所属しています。とにかく元気いっぱい！それがSAコースです。



中高一貫 アクティブ コース

Aコース

大学受験に求められるのは、膨大な範囲を網羅した基礎力とそれを土台にした応用力です。このコースでは、ハイレベルな授業内容に加え、単元別テストや実力テスト、夏休み・冬休みを活用して実施する講習などで継続的に学習する習慣を作ります。6年間の地道な積み重ねを行うことで、確かな実力と揺るぎない自信を手に入れることができます。多様な活動を通じて、思考力、課題発見解決力、表現力を身につけます。

北海道大学、東北大学などの難関国公立大学、 難関私立大学を目指す受験生を対象とした指導コース

好奇心旺盛でポジティブ 担当教員が見た中学1年Aコース

Aコースは、とても明るくて賑やかです。何事にも興味関心を持ち、授業や行事など、中学校で初めて体験することにも、目を輝かせ楽しそうに取り組んでいます。英語と数学の授業は習熟度別で、他クラスとのコミュニケーションも取ることができます。また、SAコースへのチャレンジ問題にも積極的に取り組んだり、放課後は、自習場所での日の授業で出た課題や復習に取り組んでいる生徒もいます。また、委員会や係の仕事にも責任を持って一生懸命取り組み、困っている人がいるとサポートしようとする優しい生徒たちです。



学力向上・新大学入試対応プログラム

自ら進んで課題に挑戦し疑問を解決する力を育み
学ぶ意欲を飛躍させ、自主性を伸ばします。

本校の学習は、学習習慣と学習姿勢(＝学習力)をしっかりと身につけさせることから始まります。
「主体的に学ぶ」「さまざまな事象を自分ごととして捉える」という資質を伸ばし、
一人一人が目標を叶えられる学力をサポートします。

TMシート(タイムマネージメントシート)

生徒自身で時間を管理するための仕組みです。一週間の予定をシートに記入し、一日ごとに実際の行動と照らし合わせて振り返り、担任がその内容を週ごとにチェックしアドバイスします。これにより、先を見通した学習を自分自身でコーディネートする能力を高め、計画的で効率の良い家庭学習の習慣づけを促します。担任と生徒との定期的なコミュニケーションにもつながり、学習指導だけでなく、適切な生活指導も同時に行うことができます。

放課後基礎講習・応用講習講座

放課後には、基礎講習と応用講習講座を実施。基礎講習は単元単位で、苦手な科目の克服を目指し、復習を中心に行います。応用講習講座は、より発展的な学習を促すもので希望者を対象に開講しています。

夏期講習・冬期講習

中学部は、講習ならではの体験型授業や英語集中プログラム、発展学習、基礎学習など幅広いプログラムを行っています。高校部は、高度な学力養成を目的とした集中講座があり、大学入試に向けた実践的な演習が行われています。例年、ほぼ全生徒が参加し実施しており、平常授業とは異なった環境の中で真剣に取り組んでいます。

アクティブラーニング

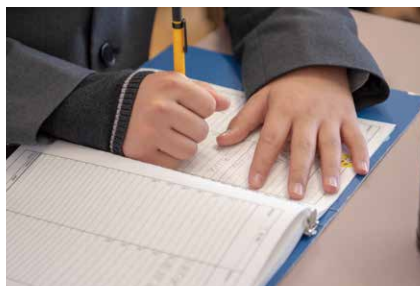
授業に対話を導入するPIL(Peer Instruction Lecture／対話型授業)、生徒が自ら設定した課題の解決に取り組むPBL(Project Based Learning／課題解決型授業)という授業型式を実施しています。対話を重ねながら授業を展開し生徒が考える着眼点を効果的に引き出し能動的な学びを促すことや、周囲との共同作業を通じて課題解決を図ることを積極的に行っています。

科学実験

中学の理科では、教室での授業とは別に、科学実験・考察の授業が週1回程度あり、3年間で約60テーマを実施しています。実験はクラスを5～6人のグループによる少人数制で行い、全員が実験器具に触れながら参加できるようにしています。実験後は、記述式のレポート提出による添削指導を行いながら、分析力や思考力を飛躍的に向上させます。

専用自習室

中学生は午後6時、高校生は午後8時まで専用自習室を開放しています。個別ブースのほか、多彩な入試資料や教材も完備しています。



新大学入試対策

新しい大学入試問題は、正解のない課題と言われています。本校では、普段の授業やレポート課題に加え、行事や体験、発表も大切な学習の場としてしています。自ら主体的に考え、調査やフィールドワークを行い発表する課題研究や、仲間との討論やグループ・ワークを通して自分の意見を相手に伝えるプレゼンテーションの機会を数多く提供することで、知識の活用力である「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」を養います。

大学進学に向けて

志望大学・学部を選定にあたっては、生徒本人が自分の将来を見据えて必要な情報を自ら集め、主体的に考えて判断することが大切です。本校では進路指導部を設けて、そのためのキャリア支援を行っています。

キャリアガイダンス

中学3年生以上を対象として、社会の第一線で活躍している社会人を招き興味深いエピソードを交えながら仕事の内容や意義について説明します。その職業に就くために必要な準備や心構えに関するアドバイスを受けることができます。

進学ガイダンス

大学に在学中の卒業生を招き、合格体験と大学生活について紹介してもらいます。東京大学をはじめ、進学希望者の多い国内の大学が中心ですが、海外の大学から招く場合もあります。

楽しい授業でレベルアップ

中学1年 渡辺 理紗子さん

札幌日本大学中学校の授業は、「ただ聞く授業」とは違います。英語の発音や理科の実験、幾何ではとあるキャラクターを例にしたり、歴史では金印のスタンプを押してみたりと、盛りだくさんの楽しい授業がたくさんあります。授業でわからなかった所は、放課後講習で先生に質問でき、その日のうちに解決することが可能です。

大学合格実績(3ヵ年抜粋)

国公立大学				※()内は医学部医学科			
大学名	2017年入試	2018年入試	2019年入試	大学名	2017年入試	2018年入試	2019年入試
北海道大学	10(1)	16(1)	9	京都大学	1	0	0
北海道教育大学	13	13	10	東北大学	1	1	0
小樽商科大学	5	7	6	筑波大学	4	0	2
旭川医科大学	0	1(1)	1(1)	お茶の水女子大学	0	0	1
札幌医科大学	2	7(4)	3(2)	東京工業大学	0	1	1
東京大学	1	1	0	横浜国立大学	0	1	2
私立大学				※()内は医学部			
大学名	2017年入試	2018年入試	2019年入試	大学名	2017年入試	2018年入試	2019年入試
早稲田大学	2	8	3	中央大学	7	14	10
慶應義塾大学	0	3	1	青山学院大学	1	1	2
上智大学	1	1	0	東京理科大学	3	13	5
明治大学	4	4	5	岩手医科大学	0	3(2)	0
立教大学	0	3	1	金沢医科大学	1(1)	1(1)	0
法政大学	3	9	12	藤田保健衛生大学	1(1)	0	0

大学入試情報の提供

指定校制度による推薦、校長推薦、AO入試のほか、大学の公開授業やオープンキャンパス開催などの最新情報を提供します。

個別学習指導

正規のカリキュラムとは別に、授業進度に合わせて教科担任が呼びかけて行う勉強会や、生徒が自ら先生を訪ねて受ける学習指導が随時行われています。高校3年生が大学入試対策として受講する機会が多くみられます。

全国模擬試験

志望大学への合格のための実戦力を養成するため、高校生を対象に模擬試験を実施しています。全国を受験生との比較ができると同時に、自分の強化すべき課題を知ることができます。

進路相談

担当の教師が進路選択や学習に関する相談を受け付けています。生徒自身が納得できる進路を見つけ、志望の大学・学部に進学できることは、すべての学校関係者にとって大きな喜びです。

理科が面白くて毎回楽しみ

中学1年 加藤 百音さん

私が面白いと思う教科は、理科です。その理由の一つは、実験が多いことです。疑問に思ったことや、わからないことが自分の目の前で解決することができます。もう一つは先生の説明がとてもわかりやすく、すんなり理解できることです。これから実験が増え、さらに理科が好きになっていくと思います。これからの授業がますます楽しみです。

魅力的な授業にワクワク

中学1年 佐藤 友結さん

私が特に楽しいと思っているのは国語です。教科書の文章を題材にした文章読解や記述の練習、問題集を使った問題演習など、様々な方法で授業が行われます。また月に一度、時事問題を題材にした「今解き教室」という問題集を使って問題演習を行います。新聞記事を題材に、現代社会が抱える問題についてとても興味深く学んでいます。

次世代対応プログラム

能動的で体験的な学びを土台に

変化の著しい時代を生き抜くための能力を育てます。

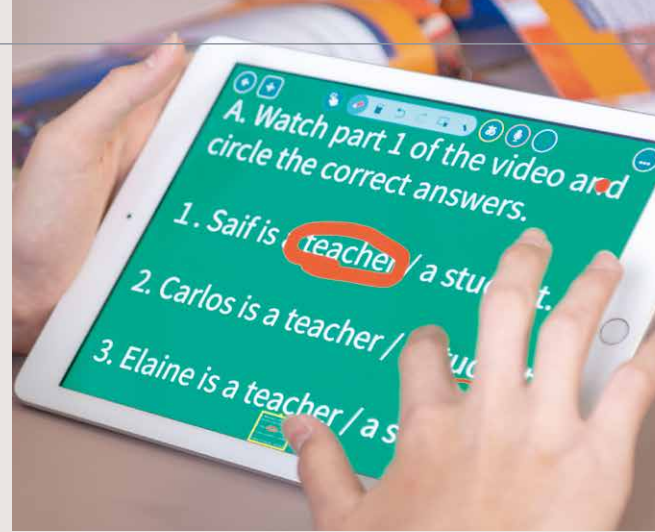
社会とよりよく関わっていく上で、ものの考え方や価値観をみがくことがとても重要です。
新しい時代を生き抜くために、多元的な視点で物事を考え、
未知の事態や新しい状況に的確に対応していくための力を育みます。



タブレットの導入で学びが変わる

本校では、2020年度から生徒1人が1台のタブレットを活用し、ICT(情報通信技術)の本格導入による新たな教育支援を展開します。

授業では、映像や音声を使い、手で複雑な図形を立体的に見ることができるなど、五感に訴える授業が可能になるほか、生徒同士のディスカッションやプレゼンテーションなど、インタラクティブ性を重視した授業スタイルで生徒の主体性や協働性を育みます。また、日々の連絡事項や配布したプリントのデータなどの配信による学校と家庭のコミュニケーションツールとしても活用する予定です。



次世代に向かう高校部の3つのベクトル

中学部

高校部

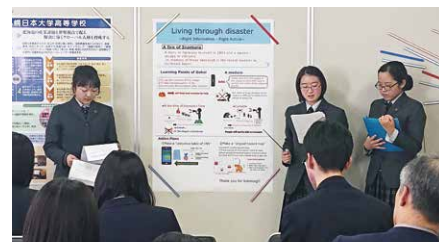
スーパーサイエンス ハイスクール

文部科学省より、将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために先進的な理数教育を実施する「スーパーサイエンスハイスクール」に指定されています。先進的な科学技術、理科・数学教育を通して生徒の科学的能力や技能、科学的思考力、判断力、及び表現力を培い、将来国際的に活躍できる科学技術人材等の育成を図っています。グループワークを中心として、多彩な実験・観察・フィールドワークなどを行い、国内・海外の大会で研究発表を行っています。



スーパーグローバル・ リベラルアーツ・プログラム

幅広い学問(教科・社会・経済など)分野の科目と、日本の伝統・文化に関する内容を履修の基本とし、特定分野に特化せずに複数の分野にわたる学びを重視することで視野を広げ、多様なものの見方、考え方を養います。日本にしながら世界を意識する3年間は実践的な英語によるコミュニケーション力と同時に、思考力や表現力、世界で活躍できる力を身につけることを目標にしています。また海外研修は積極的に実施し、近年は国際会議への参加を促しています。



メディカルリーダー 育成プログラム

医学部進学を目指す生徒を対象。医学部受験に必要な医療に関わる基礎教養の育成、小論文対策、総合的入試など、医学部固有の入試対策を実施します。「命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある人、周りの人への思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている人」など、医学部で問われる内容を、現役の医師や医学部生を招いてその心構えや医学部カリキュラムの指導も行います。また、各種プレゼンテーションを通じて、面接試験対策も実施。医師としての素養を学びます。



学びの深化と浸透

個々の教科で得た“点”の知識を探究型学習によって深め、複数の教科が連携した学習によって“面”に広がっていきます。自らの関心を原動力として、深く学び続けることで社会に出て役立つ能力や人生の選択に活かす学びを目指します。

学びの発信

身につけたことは、発信して他者と共有することで初めて意味を持ちます。学内外における発信の機会を十分に確保し、議論したり共感を得たりする経験を大切にします。その経験が多様性を尊重し、自信と柔軟性を持ってこれからのグローバル社会で活躍する力となります。

一斉授業

興味関心を高めながら
より立体的な視点で考える授業

協働学習

効率良く考えを共有し
思考を深めながら意見整理する学習

個別学習

個々の理解や関心の程度に応じた
学びを構築する学習

学習の一元管理

個々の理解の度合いを把握し
的確な対策を講じる情報管理

議論支援

議論のルールやマナーを理解し、
意見の合意形成をサポート

成果検証

成果の検証や客観データを
視覚的に把握



国際化教育プログラム

地球規模で考え、足元から行動する。

世界を学び、グローバル人材に求められる資質をみがきます。

さまざまな国や地域の多様な価値観にふれ、国際的な視野を広げます。

卓越した英語教育、積極的な海外研修や国際大会への派遣を通して、

国際人の資質を伸ばすことを目標に、世界に貢献するグローバル人材を育てていきます。



オーストラリア海外研修(高1時全員)

高校1年生になると、全員でオーストラリア研修を行います。ホームステイ、ファームステイなどを通じて、オーストラリアの文化を学び、英語コミュニケーションの向上を図ります。また、姉妹校関係の学校を訪問し、授業に参加したり、研究交流、文化交流を体験します。生徒による自主研修では、積極的にアポイントを取り観光地、大学を訪問しています。

ケンブリッジ大学語学研修(希望者)

イギリスの名門大学ケンブリッジ大学のキャンパスを中心に、ケンブリッジ市街も活用して実施されるプログラムは、安全で楽しく、クオリティの高い英語レッスンに加えて、より確実に上達できるようにチュートリアル(個別レッスン)も行われます。語学の学習だけでなくアクティビティを楽しむための実戦的な英語の指導も授業内容に含まれ、英語学習、ソーシャルプログラムとも、とても充実した内容です。

国際大会への積極的出場(希望者)

アジア地域における中高生のアイデアコンテスト"Global Link Singapore"。アジア地域を中心とする世界各国の中高生が、科学や国際課題に関する考えや研究成果を、英語を使って国際舞台で発表します。プレゼンテーションやディスカッションを通じて、世界の中高生や研究者・専門家との交流が生まれます。また、科学・技術に関する研究活動やアイデア、環境や経済など社会課題に関する研究や、解決のためのアイデア・提言を様々な国からの参加者が持ち寄り、発表や意見交換を行います。

短期・長期海外留学／海外からの中学・高校研修受け入れプログラム(希望者)

人と人との交流を通じ、世界の生活文化の理解を深め、国際相互理解教育の推進と世界の平和に貢献することを目的とし、毎年多くの高校(オーストラリア、ニュージーランド、中国、台湾、韓国など)と交流活動を実施しています。世界の多様性を肌で感じることができる機会として、体験を学びに変えていくためのプロセスである海外高校との交流を通じて、グローバル社会で活躍できるグローバル人の素養を磨いています。

海外インターシップ制度(希望者)

生徒個人個人が自らの研修目的を持って海外でのインターンシップへの参加(海外ボランティア・専門分野研究・国際看護体験など)にも力を注いでいます。2019年度は「トビタテ!留学ジャパン2019高校生(文部科学省主催)」に15名選出されカナダ・オランダ・ガーナ・タンザニア・アメリカ・エクアドル・韓国・ニュージーランドなどで研修を行います。

民間企業・行政機関とのパートナーシップ海外研修(希望者)

民間企業で企画・主催されている国際交流活動に積極的に参加しています。現在は、イオン1%クラブと連携した中国での高校生交流活動を実施しています。また、行政機関が主催する海外研修にも積極的に生徒に参加を働きかけ派遣しています。



グローバル化とともに高まる英語力の重要性を見据える

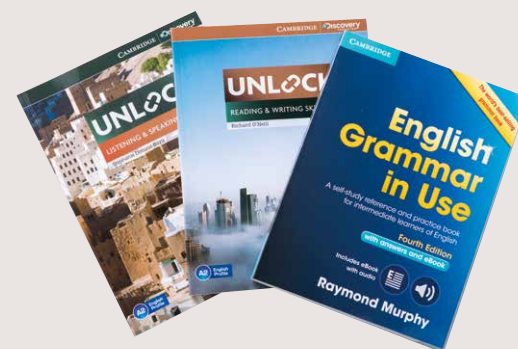
英語はグローバルな意思疎通における最も主要な言語であり、ツールとして英語が使えるようになっておくことは非常に重要な素養と考えます。本校の英語プログラムでは、アカデミックでもビジネスでも、もちろん日常生活でも使える英語が身につくよう、6年間を通してより伝わる表現や正確性を学びます。

週6～7時間の 英語授業時間

中学3年間で約525時間、高校卒業までに
1000時間を超える時間を確保。

オールイングリッシュ 授業プログラム

課題解決型授業、対話型授業といったアク
ティブラーニングの形態で実施。



ケンブリッジ出版の 教材活用

2018年から教材と試験の両面でケン
ブリッジ出版等を使用した英語教育。

英語検定、資格試験 チャレンジプログラム

英検は中学卒業時に2級の取得を目標。
ケンブリッジ英語検定も必須実施。

英語プレゼンテーション スキル・レスンプログラム

英語のディベート大会等への
参加を見据えたレッスン。

英語 サマーキャンプ

夏休み期間に外部から招いた
外国人教員による英語集中プログラム。

京都B&Sプログラム (京都の古都文化を留学生と探索)

中学3年研修旅行での、京都大学・
同志社大学などの留学生との
英語コミュニケーションプログラム。

アメリカ文化体験 英語プログラム

中学3年研修旅行で大阪英語村を
訪問しアメリカの文化を英語で体感。



英語スピーチ コンテスト

自己の考えや主張を英語で表現できること
を目標としたコンテストの開催。

価値発見プログラム

様々な体験や未知との出会いから
学び続ける原動力を導き出します。

これからの社会は、多様な価値観を持つ人々と協働し、
創造力を発揮して課題解決に取り組んでいくことが求められます。自ら目標を持って、
新たな価値を創り出す過程で育まれる「豊かな人間性」を追求します。



旅行先から見いだす価値

中2研修旅行（北海道内／行き先は年度により決定）

他者と良好な人間関係を築けるようになるための社会的スキル（ソーシャルスキル）を育みます。国際化都市として発展を続けるニセコ町（外国企業訪問・行政訪問など）では、グローバル化の実態の調査や、北海道の農水産業の体験とそれらの仕事に従事されている方へのインタビューなどを通じ、自分の意見を率直に表現する姿勢を育み、グループ活動を通じて協力しながら仲間と共に成長していく基礎を育んでいきます。

中3研修旅行（広島・京都・奈良）

中学3年生は4泊5日で広島、京都、奈良への修学旅行です。広島では広島の中学生と「原爆について」や「北方領土について」、お互いの課題研究について意見交換し、原爆資料館、平和公園を訪ね平和教育を体験します。京都・奈良では、歴史、産業、文学などについて学びます。京都では海外からの留学生と一緒に京都散策を行い、大阪英語村では米国の文化を学びます。5日間の集団生活の中で、集団の一員としての自覚を持ち、規律や秩序を守る態度も身に付け、さまざまな体験を共にする仲間との友情をより深めて心に残る旅行にします。

高1オーストラリア研修旅行

10日間の日程でオーストラリア海外研修を実施します。姉妹校であるヘイルベリーカレッジ（メルボルン市内）、トゥーラックカレッジ（メルボルン近郊）を訪問し、授業体験、ホームステイやファームステイによりオーストラリア文化を体験します。また自主研修として、グループによるシドニー、メルボルンの大学や歴史施設、観光施設などを調査します。さらに、オーストラリアならではの豊かな自然の中で、キャンプを通じて環境学習を行います。

文化・スポーツ・伝統で実感する価値

学園祭

中学部、高校部と別々に学園祭を実施しています。中学部では3学年9クラスそれぞれが学園祭テーマを表現する劇やダンス、課題研究などでパフォーマンスを競います。テーマを基に脚本係が物語を創作したり、振り付けを考えてクラスメートに教えるダンス係がいたり、舞台セットを作る大道具係などに分かれて作品を完成させます。クラスの団結力を通じて、協働力・表現力・創作力などを養います。

スポーツフェスティバル

中学部、高校部と別々にスポーツフェスティバルを開催しています。中学部では3学年9クラスによるクラス対抗競技や赤・白・青の学年横断の対抗戦により、クラス毎のチームワーク、学年を横断した組織力の育成を行っています。

アートフェスティバル

文化・芸術活動の発表の場として開催する、中学部3学年9クラスで競うフェスティバルです。合唱コンクールでは、歌唱のプロセスを通して、クラスが一体となったコミュニケーション能力や創造力を伸ばし、観客の前で発表することによって、緊張感のある場面にも恐れず臨む力を育みます。また、個人活動では、英語スピーチ、青年の主張、文化活動などの発表を行います。

伝統体験学習

伝統文化、伝統工芸、伝統芸術などは、それまでの長い歴史の中で形成されたなかでも特に普遍的に重んじられてきたものであり、地域に根ざし地域社会の生活様式と共に伝承されてきたものです。本校では、「百人一首大会」「皿回し大会」などを通じて、人間として生存・生活、社会全体として共有しながら受け継がれてきた生活様式や、種種の習慣、慣習・価値観などを学びます。



学びのプロセスから導き出す価値

アカデミックメソッド（探究型講座）

国連が定める「すべての人々にとってより良き世界をつくる」を教育目標として、「持続可能な開発目標」（SDG s）をテーマとして課題研究に取り組んでいます。

中学1年 ソーシャルスキルの育成

- ①SDG sの基礎教養について知識を深め理解し、これから生活していく中でどのように意識していくかを考えます。
- ②SDG sの目標17項目の中で、興味のある項目に対し、どのような取り組みをしているのか調べます。
- ③活動を通して考えたこと、わかったことについて個人でまとめ発表を行います。



中学2年 アカデミックスキルの育成

- ①中学1年で決めた研究内容にある問題点について、実際に取り組まれた内容を調べます。
- ②同じテーマ（持続可能開発目標）でグループを組み、調べ学習についてのシェアリングやディスカッションを行います。
- ③活動を通して、課題研究の問題点・先行研究（自分ができる解決策をまとめた内容）について中間発表を行います。



中学3年 プレゼンテーションスキルの育成

- ①中学2年の中間発表での質問やアドバイスから、さらに個人の課題研究内容について深めます。
- ②社会問題に対するアイデアを考え、実際に実行してみることを検討し、その解決策の利点・欠点まで分析します。
- ③3年間を通して研究した内容について課題研究発表（課題点・先行研究・解決策・利点・欠点・まとめ）を行います。

年間行事一覧（実施月は変更になる場合があります）

	中 学	高 校
4月	●始業式 ●入学式 ●新入生歓迎会 ●授業参観 ●夢発表会（1年）	●始業式 ●入学式 ●授業参観 ●進路説明会（1年）
5月	●三者懇談会 ●遠足 ●研修旅行（2年）	●遠足 ●看護体験（任意）
6月	●開校記念日 ●中体連春季大会	●開校記念日
7月	●桜虹祭 ●全校集会	●桜虹祭 ●全校集会
8月	●全校集会 ●夏期講習 ●中体連秋季大会	●全校集会 ●夏期講習
9月	●前期終業式 ●後期始業式	●進路説明会（2年） ●前期終業式 ●後期始業式
10月	●スポーツフェスティバル ●三者懇談会 ●保護者会セミナー ●研修旅行（3年）	●スポーツフェスティバル ●三者懇談会 ●保護者会セミナー
11月		
12月	●姉妹校交流 ●皿回し大会（1年） ●お楽しみ会 ●全校集会 ●冬期講習	●姉妹校交流 ●全校集会 ●冬期講習
1月	●授業参観 ●芸術鑑賞	●授業参観 ●芸術鑑賞
2月	●百人一首大会	●オーストラリア 研修旅行（1年）
3月	●卒業式 ●終業式	●卒業式 ●終業式



学校生活

School Life

本校で過ごす6年間は、
子どもから大人へと成長するためのかけがえのない時間。
仲間と一緒に笑ったり、楽しんだり。
ときには自分自身を見つめることも大切です。
そんな毎日が、人間としての大きな成長につながります。



Go to school

JR上野幌駅から徒歩約8分。
今日も元気な声が飛び交う。
スクールバスなら、
学校まで快適な通学ができる。

08:00
登校



08:25
朝読書



Morning reading

自分の好きな本を選んで
10分間の読書。
心を落ち着けてスムーズな
一日をスタートする。



08:35
HR



Home room

担任の先生から今日の予定を確認。
目的意識をしっかり持った
一日を送ろう。

08:50
授業



50分の真剣勝負がはじまる。
今日は、予習もバッチリなので、自信満々!

12:45
昼食



12:45
昼食

13:00
昼休み



昼食後でちょっぴり眠いけど、
集中して取り組もう。

13:25
授業



Club activities

週2日のクラブの日。
中体連が近いので、真剣に、
気合を入れて頑張ろう。

15:45
クラブ活動



18:00
下校



親しみやすい先生

中学1年 相澤 祐花さん

先生は、優しく親しみやすい先生ばかりです。授業でわからなかったことは理解できるまで丁寧に教えてくれたり、個人で使用する棚の正しい使い方のアドバイスをくれたり、学習面と生活面の両面から私たちを支えてくれています。授業では、一方的に話を進めるのではなく、私たち生徒と一緒に進めていくので、勉強が楽しく、時間があっという間に過ぎていきます。豆知識や体験談なども面白く、授業に飽きることがありません。



Going home from school
あっという間に、
楽しい学校生活の一日も終了。
スクールバスでの下校は便利で安全。



クラブ活動

本校のクラブ活動は、週2～3回。
短い時間の中でも「量より質」を重視し、
工夫を凝らした活動を行っています。
中学校のクラブ活動加入率は80%以上で、
生徒の多くが文武両道を実践しています。

Badminton club

バドミントン部

競技を通して礼儀・マナーを身につけることを活動目標に置いています。初心者からでも楽しみながら技術をみがいていきます。

Basketball club

バスケットボール部

「最高の選手である前に最高の生徒であれ」を部訓に、バスケ・礼儀・学力の三位一体を目標として熱い練習に取り組んでいます。



Science club

科学部

実験や観察、フィールドワークなどを通して、日常生活に見られる事物・現象を科学の目で解明し、自然の不思議や理科の面白さを体験します。

Go & Shogi club

囲碁・将棋同好会

対局中、盤上に集中することにより、脳の働きが活性化します。「礼に始まり礼に終わる」ことも学び、礼儀も自然に身につきます。

Baseball club

軟式野球部

野球ができることへの感謝の気持ちを大切に、チームワークと技術をみがき、中体連での勝利を目指しています。通塾生も多く、文武両道を実践しています。

Volunteer club

ボランティア部

「自分たちでできることから始めよう!」自分のためにそして誰かのために、中学生と高校生と一緒に楽しく笑顔で活動しています。

Art club

芸術同好会

油絵、アクリル画、陶芸などの造形活動を通して己の表現を模索しています。高校美術部と一緒に活動しているユニークな部です。

Robot club

ロボット部

中1から高2までの5学年が活動し、ロボカップジュニア世界大会出場を目標にロボットの設計・プログラミングを行っています。7年連続全国大会に出場しています。

Tennis club

硬式テニス部

「明るく礼儀正しく」が合言葉です。大半が初心者からのスタートですが、文武両道を目指して楽しみながら練習に励んでいます。

Table Tennis club

卓球部

卓球初心者から経験者まで加入しています。チームワークや礼儀を大切にして、一生懸命練習に励んでいます。

English conversation club

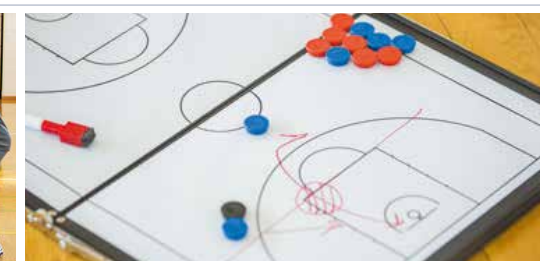
英会話同好会

ニュージーランド出身のネイティブ英語教員2名、日本人英語教員1名の計3名の教員と、日常生活、時事問題等について英語で話し合います。

Photography club

写真同好会

カメラを手にしているときは一瞬のシャッターチャンスも逃がしません。撮影中は真剣そのもので、集中力が養われます。私たちと一緒に、こだわりの一枚を追求しましょう。





教育環境

Campus & Facilities



JR千歳線・上野幌駅から徒歩約8分。

札幌の市街と山並みを見渡す丘の上に、近代的な設備と木のぬくもりを感じさせる、札幌日本大学中学校・高等学校の校舎があります。

学習効果を高める施設やクラブ活動を支える各種設備は、生徒たちの個性と可能性を伸ばしています。今日も開放的で自然豊かなキャンパスには、明るい声が響き渡っています。



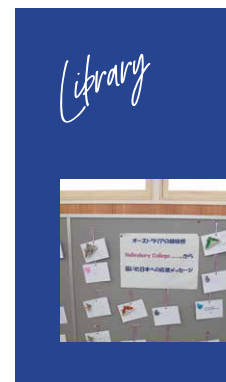
交流ホール

吹き抜けのおしゃれな空間。各種ドリンクの自動販売機があり、休み時には、学習、語らいの場として利用されています。



コミュニティルーム

生徒たちに人気のスポットのひとつです。自習室として、あるいは知的な憩いの場として多目的に利用されています。



図書室

高校校舎と共用の図書館にはさまざまな種類の本が置かれています。閲覧スペースもあり、ゆっくりと本を読むことができます。



専用自習室

個人ブース式専用自習室と進路用資料を配置した、専用自習室を完備しています。



レセプションホール

式典や保護者懇談会、講演会などが開かれる多目的のホールです。円形に窓が配置されたラウンジタイプとなっています。



生徒ホール

休み時間や放課後などに、自由に利用できるスペース。生徒用玄関を入った正面にあるため、待ち合わせにも便利です。



視聴覚室兼 コンピューター室

図形ソフトなどを使った数学の授業やインターネットを活用した各種授業などに使用しています。放課後は生徒に開放しています。

技術室

家庭生活や社会生活を送るために必要な「道具」を活用するための知識や方法を学びます。



家庭科室

家族と家庭の役割、生活に必要な衣・食・住について実践的・体験的な学習を行います。



理科室

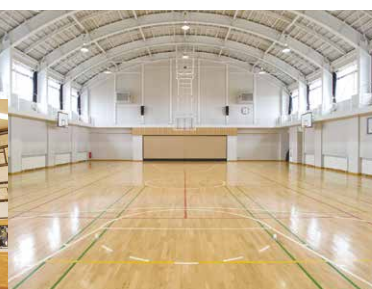
論理的思考を養成するため、特に力を入れている教科のひとつが理科です。各種実験機器、設備を整えた2つの理科室を用意しています。



Sports

柔道場

高校生用の柔道場。主に体育の授業と部活動で使用されています。



剣道場

高校生用の剣道場。主に体育の授業と部活動で使用されています。

体育館(アリーナ)

お昼休みやクラブ活動の時間にたくさんの生徒が集まる体育館。広々としたつくりで思いっきり体を動かすことができます。



進路指導室

将来の夢ややりたい職業は何かなど、一人一人の希望を聞き、適性を見極める手助けをします。目標が決まったら最新の情報をもとに万全の体制を整えて、生徒の進路を全面的にバックアップします。



制服図鑑

Uniform

制服ブランドは、コムサデモード・スクールレーベル。

制服コンセプトは「ちょっと大人っぽく、きりっとさわやか」。

清潔感があり、活動的な学生生活にフィットする動きやすさと、フォーマルな場での清潔感あふれる着こなしを両立させたデザインが特徴です。モノトーンでまとめられた落ち着いたイメージと、シンプルで機能性に優れた制服として生徒に評判です。



ニットベスト



ニットセーター



ネクタイ・リボン



ソックス



夏服



冬服

在校生からのメッセージ

Messages

中学校で出会った友だち

私は、札幌日本大学中学校でとてもいい友だちに恵まれたと思います。3月にあった入学前のテストの時、知り合いがほとんどいない私に対し、フレンドリーに接してくれる女の子がいました。入学してからも、その子はもちろん、とても友好的に接してくれる友だちとたくさん出会うことができました。クラスで仲間割れすることもなく、また、悩みごと相談できる雰囲気があり、とても楽しく過ごしています。

中学1年 渡辺 好さん

楽しみながら学べる環境

札幌日本大学中学校の授業は、わかりやすく楽しいです。先生が学習の内容を楽しみながら理解できるように工夫してくれるので、50分間の授業を集中して受けることができます。また宿題として与えられる課題は、その日の授業の内容の理解を深めることができます。授業と課題によって、基礎的な力を身につけることができます。

中学1年 祐川 咲希さん

先生方は強い味方

札幌日本大学中学校には、個性豊かな先生がたくさんいます。先生方は優しく、とても面白いです。学校生活で悩みごとがあると親身に相談に乗ってくれます。また、放課後には、授業でわからなかったことがあれば理解できるまで丁寧に教えてくれます。このように、先生方は、私たちのことを学習面、生活面ともに全力でサポートしてくれる強い味方です。

中学1年 正村 映湖さん

充実した学校生活

私が入学して良かったと感じることは、個性豊かな友人ができたことと、授業で深い学びができることです。男女とも仲が良く、先輩も親切で色々なことを教えてくださいました。宿題は多いですが、先生方が工夫して教えてくれるので、勉強の習慣が自然と身につきます。部活は、週2回程度なので、勉強と部活の両立が十分に可能です。希望する大学への合格を目指し、友だちと切磋琢磨しながら学校生活を送りたいです。

中学1年 依田 優士さん

授業と宿題

授業はとてもワクワクします。黙って話を聞くだけの授業ではなく、生徒が先生に質問したり、友だちと相談したり、そこから色々考えて学ぶことができます。自分一人では気づけなかった発想や視点を知り、答えは一つではないことや、多方面から物事を見る大切さを実感することができます。宿題は、復習が中心のため無理はなく、放課後講習を利用して先生からアドバイスを受けることもできます。

中学1年 岡原 遥成さん

自主創造 日本大学

130年の輝きと共に、未来を創る。2019年に創立130周年を迎えます。

日本大学は、自ら考え、自ら行動し、自ら創造する「自主創造」の力を持つ人材育成をめざします。

教養教育

- 教養教育科目(総合教育科目)
 - 外国語科目
 - 保健体育科目
- などを幅広く学びます。

専門知識を理解し活用するための
高度な教養を身につける

専門領域に関する基礎知識や
学問研究の方法と姿勢を学び
問題解決能力を身につける

学科・コース・
専攻などに応じた専門科目を
段階的・系統的に学びます

専門教育

1年次

4年次(6年次)

なぜ大学で「教養」を学ぶのか

大学は、自らの関心や将来の目標に沿った専門分野の知識を身につけるとともに、社会人として、また心豊かな人間として備えるべき教養を身につけることができる学修の場です。日本大学は総合大学として、人文科学・社会科学・自然科学の幅広い学問領域を網羅する学部・学科を設置しており、学生はそれぞれの興味や将来の目標に合わせて専門分野を学ぶことができます。しかし、専門知識の理解を深め、それを他の分野と関連づけて考えたり、実社会で活用していくためには、幅広い高度な教養を身につけることが欠かせません。

日本大学では専門分野に関する基礎知識だけではなく、教養教育にも力を入れることで、日本大学の教育理念である、自ら考え、自ら道を切り開き、自ら創造できる「自主創造」の精神を持った人材の養成を目指しています。

専門分野をどのように学ぶのか

教養教育に対して、幅広い教養を基盤に専門領域に関する基礎知識や学問研究の方法と姿勢を学び、問題解決能力を身につけるのが専門教育です。「専門基礎科目」「学部共通専門科目」などの基礎的科目から、学科の専門領域そのものを学ぶ科目まで、自分の関心や将来の進路に応じて段階的・系統的に学び、専門性を深めます。

専門科目の授業は、講義だけでなく演習、ゼミナール、実験・実習など、多くが少人数形式で行われます。その授業をより豊かで実りあるものにするためには、教員の力だけではなく、学生が主体的に参加し、双方向型の対話を通して学んでいくことが大切です。学生が「自分で授業をつくる」という気概を持つことで、高校とは異なる新しい学びの喜びを体験することができます。そうして獲得した「自主創造」の力こそ、将来、社会の一員として自らの役割や使命を果たし、社会に貢献していく上で欠かせない力となります。

大学院

- | | | | | | |
|----------------|----------|------------|------------|---------|-----------------|
| ○法学研究科 | ○新聞学研究科 | ○文学研究科 | ○総合基礎科学研究科 | ○経済学研究科 | ○商学研究科 |
| ○芸術学研究科 | ○国際関係研究科 | ○理工学研究科 | ○生産工学研究科 | ○工学研究科 | ○医学研究科 |
| ○歯学研究科 | ○松戸歯学研究科 | ○生物資源科学研究科 | ○獣医学研究科 | ○薬学研究科 | ○総合社会情報研究科(通信制) |
| ○法務研究科(ロースクール) | ○知的財産研究科 | | | | |

学部・短期大学部

- | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|------|--------|----------|---------|----------|--------|
| ○法学部 | ○文理学部 | ○経済学部 | ○商学部 | ○芸術学部 | ○国際関係学部 | ○危機管理学部 | ○スポーツ科学部 | ○理工学部 |
| ○生産工学部 | ○工学部 | ○医学部 | ○歯学部 | ○松戸歯学部 | ○生物資源科学部 | ○薬学部 | ○通信教育部 | ○短期大学部 |

全国にひろがる 日本大学付属高校のネットワーク。

付属高校・中等教育学校には

日本大学への推薦入学制度もあり、
高大連携教育をはじめとして付属校各々の
「独自性」と日本大学の持つ「総合性」が結び付く等、
他にない特長があります。

日本大学高等学校・中学校
日本大学櫻丘高等学校
日本大学鶴ヶ丘高等学校
日本大学藤沢高等学校・中学校
日本大学豊山高等学校・中学校
日本大学豊山女子高等学校・中学校
日本大学三島高等学校・中学校
日本大学明誠高等学校
日本大学山形高等学校
日本大学習志野高等学校
日本大学東北高等学校
日本大学第一高等学校・中学校
千葉日本大学第一高等学校・中学校

日本大学第二高等学校・中学校
日本大学第三高等学校・中学校
大垣日本大学高等学校
土浦日本大学高等学校
岩瀬日本大学高等学校
土浦日本大学中等教育学校
宮崎日本大学高等学校・中学校
佐野日本大学高等学校
佐野日本大学中等教育学校
長崎日本大学高等学校・中学校
長野日本大学高等学校・中学校
札幌日本大学高等学校・中学校
目黒日本大学高等学校・中学校